

平成29年度事業報告

1. 総会及び理事会等会議の開催

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
監 事 会	29. 4. 21	ハム・ソーセージ 会 館	監事 4名	平成28年度収支決算等に関する事項
理 事 会	29. 4. 21	帝国ホテル3階 「鶴の間」	理事 17名 監事 4名	平成28年度事業報告及び決算について 定款変更について 総会提出議案について
理 事 会	29. 5. 30	浜松町東京會館 「オリオン」	理事 17名 監事 4名	委員会委員の委嘱について
第14回定時 社員総会	同 上	同 上	70名 (委任状による 出席46名を含む)	①平成28年度事業報告の件 ②平成28年度決算報告書承認の件 ③定款変更の件 ④平成29年度事業計画報告の件 ⑤平成29年度収支予算報告の件 ⑥入社基準決定の件 ⑦平成29年度会費及び徴収方法決定の件 ⑧平成29年度加入金決定の件 ⑨平成29年度借入金最高限度決定の件 ⑩常勤理事報酬最高限度決定の件 ⑪理事1名、監事2名退任に伴う理事1名、 監事2名補選の件
理 事 会	29. 8. 30	ハム・ソーセージ 会 館	理事 16名 監事 4名	社員の退社について
理 事 会	29. 10. 25	ハム・ソーセージ 会 館	理事 17名 監事 4名	経理状況報告について
理 事 会	30. 1. 29	浜松町東京會館 「オリオン」	理事 13名 監事 4名	安全衛生管理規程の改定について
理 事 会	30. 3. 28	ホテルラヴィア広島 「飛鳥の間」	理事 14名 監事 3名	平成30年度事業計画及び収支予算(案)に ついて
J A S 認定業 務評価委員会	30. 3. 26	ハム・ソーセージ 会 館 他	委員 3名	本研究所の審査、認定及び意思決定プロ セスの公平性について 公平性のリスク分析の結果に対する評価
登録検査機関	同 上	同 上	委員 3名	厚生労働省登録検査機関に係る業務の信

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
検査業務評価 委員会				頼性確保について

2. 事業に関する事項

- (1)平成 29 年 4 月 12 日～14 日の 3 日間、東京ビッグサイト東 4 ホールで開催された「2017 食肉産業展」に(一社)日本食肉加工協会、日本ハム・ソーセージ工業協同組合と共同で出展し、JAS 規格制度、栄養成分検査及び“おいしさ評価”検査などを紹介した。
- (2)平成 29 年 5 月 30 日、東京都港区「浜松町東京會館」において開催の第 14 回定時社員総会で、一般社団法人 食肉科学技術研究所のホームページを刷新したため、定款第 5 条のホームページのドメイン名の変更を諮り承認された。
- (3)平成29年5月30日、東京都港区「浜松町東京會館」において開催の第14回定時社員総会で、理事1名及び監事2名退任に伴う理事1名及び監事2名補選が行われた結果、長濱徳勝氏が理事に、菊池英夫氏及び村上 隆氏が監事に選出された。
- (4)平成 29 年 6 月 26 日、役員の変更登記を完了した。
- (5)平成29年度精度管理事業等の取組みについて
 - ①精度管理のための技能評価試験 ((公社) 日本食肉協議会の助成事業)

適切な検査がなされているかを確認したい検査施設を対象に、大腸菌群、亜硝酸根等の検査項目ごとに一定量を含む標準試料を配付し、検査結果を回収して、統計処理した結果を各施設に通知した。6月と9月の2回実施した。
 - ②検査技術実技研修会 ((公社) 日本食肉協議会の助成事業)

当研究所の試験検査室で、検査担当者への実技研修を5月、7月と翌年2月の3回(2日間コース)行った。
 - ③食品を取り巻く行政情報等に関するゼミ

主に品質保証担当者を対象に、食品安全基本法、食品衛生法、食品表示法等に関するゼミを9月12日～14日に開催した。
- (6) J A S 登録認定機関の 4 年ごとの登録更新手続きのため、平成 29 年 8 月 16 日付で、農林水産大臣宛に登録更新申請書を提出し、平成 29 年 10 月 10 日付で登録更新手続きが終了した。

平成 29 年 12 月 14 日、15 日 (独法)農林水産消費安全技術センター (FAMIC) による JAS 法に基づく事業所調査及び製品検査施設調査を受けた。不適合は無く、登録認定機関としての体制が維持、運用されていると判定された。

生産情報公表牛肉及び生産情報公表豚肉 JAS 登録認定機関については、認定申請がなく今後も見込みがないため、登録更新手続きを取らなかった。そのため平成 30 年 3 月 10 日に自動的に資格が失効した。
- (7)平成 29 年 10 月 12 日、厚生労働省関東信越厚生局より厚生労働省登録検査機関として定期監査を受けた。業務改善が必要な指摘事項はなかった。
- (8)平成29年11月27日にISO17025審査登録機関であるペリジョンソラボラトリー アクレディテーション

ンク(PJLA)による文書サーベイランス審査を受け、不適合・要観察事項は認められず、適正であると判定された。

- (9)平成30年2月28日～3月2日まで東京都中央卸売市場食肉市場を主会場に開催された「第10回全日本大学対抗ミートジャッジング競技会」に協賛、協力した。
- (10)平成30年3月30日、東京都文京区「東京大学農学部キャンパス」において開催された第59回日本食肉研究会総会及び大会に協賛、協力した。

3. 社員に関する事項（平成30年3月31日現在）

期 別	社 員 種 類					総 計
	正 社 員	正社員甲	正社員乙	正社員丙	賛助社員	
前期末現在	81	2	0	0	2	85
今期入社	0	0	0	0	0	0
今期退社	1	0	0	0	0	1
今期末現在	80	2	0	0	2	84

- (注) 正社員：(一社)日本食肉加工協会及びその会員
 正社員甲：食肉製品製造を事業とする者
 正社員乙：食肉製品製造を事業の一部として経営する者
 正社員丙：食肉加工を事業とする者
 賛助社員：食肉加工あるいは食肉製品製造の業に関連する事業を行なう者

4. 事業の概要

(1) J A Sに関する業務

ア) 平成29年度における J A S 格付状況

区 分	格 付 数 量	対前年度比
ベーコン類、ハム類、プレスハム及びソーセージ	128,462トン	5.3%増
熟成ハム類、熟成ソーセージ類及び熟成ベーコン類	27,896トン	7.0%増
ハンバーガーパティ	31,604トン	14.1%増
チルドハンバーグステーキ	1,695トン	±0%
チルドミートボール	107kg	—

イ) J A S 認定工場数 (平成30年3月31日現在)

農林物資 期 別	ベーコン類等	熟成ハム類等	ハンバーガー パティ	チルドハンバーグ ステーキ	チルドミート ボール	合 計
平成28年度末	91*	60*	3	5	1	160
認 定	0	0	0	0	0	0
辞 退	4	1	0	0	0	5
平成29年度末	87*	59*	3	5*	1*	155

*: 外国製造業者1を含む。

ウ) J A S 登録認定機関業務規程の改定について

平成29年4月3日付で新規に認定を受けたい国内の製造業者について、実地調査に係わる旅費等を申請者が負担するよう業務規程を改定した。

エ) J A S 認定工場は平成29年度定期確認調査において、すべて適正であった。また、当研究所が行う JAS 認定工場の定期調査の現場に FAMIC が立ち会う実地調査は、延べ3工場について実施され、不適合はなかった。

オ) J A S 証票表示包装等登録印刷工場はベーコン類等112工場、熟成ハム類等75工場、

ハンバーガーパティ、チルドハンバーグステーキ及びチルドミートボール28工場となった。

カ) 品質管理担当者等講習会の開催

区 分	期 日	会 場	受講者数
品質管理担当者講習会	29.7.4	フォーラムエイト(東京都渋谷区)	63名
	29.7.11	新大阪丸ビル(大阪市)	22名
品質管理責任者等専門講習会	30.1.25~26	フクラシア品川(東京都品川区)	61名
格付検査担当者技能研修会	30.1.27	ハム・ソーセージ会館	15名

(2) 一般依頼検査等に関する業務

ア) 平成29年度に実施した一般依頼検査、輸入食品検査の件数は下記の通りであった。

区 分	一般依頼検査			輸入食品検査	合 計
	理化学検査	細菌学検査	その他検査		
件 数	9,701件	9,425件	596件	6,582件	26,304件

イ) 各検査項目の精確かつ効率的な検査方法の開発に努めるとともに、内部精度管理、内部点検を実施し信頼性確保に努めた。また、外部精度管理調査については、国内外の機関が行う調査に引続き参加し、検査精度の向上に努めた。

(3) 平成29年度における研究発表

学会名	表題
第124回日本畜産学会大会	熟成中の牛肉の筋内脂肪変化に影響される呈味性の味覚センサおよび官能評価による分析(第2報)

- (4) (一社)日本食肉加工協会主催の「初級食肉加工技術講習会」及び「HACCPシステムに基づく衛生管理講習会(食肉製品)」に技術協力した。

附属明細書

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成30年5月

一般社団法人 食肉科学技術研究所